

「らくご」ってなんだ？

町の先生の 虎乃家 光甲(とらのやみつこう) さんが来てくださり、子ども向けの落語公演会が行われました。「らくご?」「なんだろう?」「おもしろい話?」と漠然としたイメージだったのですが、いざ話が始まると子ども達はお腹を抱えて大笑い。遊戯室いっぱい笑い声が響きました。

日時：令和6年2月 29 日

発行：中央保育所幼児クラス

作成：加茂理恵子 岸田江里佳

山野友希



着物や羽織姿にも興味津々。
一人で何役もこなす光甲さん。
扇子や手ぬぐいを使って
お噺を盛り上げます。



どんな話かな?

なんでやねん!

大爆笑!

扇子をお箸に見立てうどん、そば、らーめんを食べています。片方の手でうどん鉢を表現し、うどんをすすする姿を見て、真似をする子どもも。



本物のトラみたい!

演目『どうぶつえん』
お話の展開に、結末がどうなるかと、
ドキドキしながら聞く子ども達。



面白かったです

落語が終わった後「おもしろかった〜」「今度はいつ来てくれるの?」「うどんを食べるのは僕もできるよ!」と話していました。昔(江戸時代)から伝わる日本の文化に触れ、楽しいひと時を過ごしました。